

令和6年度

公益社団法人 埼玉県医療社会事業協会

議 事 録

第7回 理事会

日時：令和6年12月17日（火）

場所：協会事務所＋オンライン会議（Zoom）

1 開催日時: 令和6年12月17日(火) 14:00～16:42

2 開催場所: 協会事務所、オンライン会議 (Zoom) 併用

3 出席者: 理事12名、監事2名、顧問1名、幹事2名 計17名

出席:

(理事) 杉山 明伸 (Zoom)、大塚智秋 (Zoom)、竹内潤子、平野朋美、橋村健司 (14:10～)、千賀英昭 (Zoom 15:00～)、山梨誠、門岡高太郎、倉橋 (松本) 浩一 (Zoom)、長岡杏奈 (Zoom)、飯田里美、高瀬紀子 (Zoom 15:20～)

(監事) 永井薫 (Zoom)、吉越千昭 (Zoom 15:20～)

(顧問) 堀口泰正 (Zoom)

(幹事) 清水信貴 (Zoom)、吉田穂菜美 (Zoom)

欠席:

(理事) 東 (竹野) みはる、竹本耕造、森田 (近内) 晴美

4 定足数確認 (定足数8名)

理事 参加12名の出席で理事会は成立。

5 役割分担

議長: 杉山明伸 書記: 吉田穂菜美 (幹事)

議事録署名人: 杉山明伸、永井薫、吉越千昭

6 代表理事より: 杉山会長

役員改選について準備中であるが、理事が決まらなると次の体制に移行できない。後継人を検討していく必要がある。幹事や協会運営に協力していただいている方等、次の理事を担っていただけるような方に、必要に応じて声をかけていただきたい。

永井監事: 杉山会長の会長職就任の経過や公益社団法人への移行等の歴史を特別版MSWさいたまに掲載するのはどうか。

堀口顧問: 会長が退任される機会を捉え、公益社団法人移行10周年、又は協会創設70周年等で講演をしていただき、それを記念誌的な形で残してもらいたい。これまでのことを基礎に、次世代の方に仕事を引き継いでいってほしい。

7 報告事項、討議事項

1) 関係機関・関係団体主催会議の参加報告

①全国医療ソーシャルワーカー協会会長会 第33回会議について：杉山会長

次年度の全国医療ソーシャルワーカー協会総会は三重県。全体的に会員は減っているが、増えている都道府県もある。会員数が増えている県はSNS活用（Instagram、X、Podcast）、他団体との活動・交流、ラジオの活用等を行っている。

②「令和6年度在宅医療関連調査・講師人材養成事業」におけるグループワーク研修の開催及び受講生の選定等について：松本理事

県保健医療部医療整備課吉川氏から依頼あり。去年は松本理事が参加。期限が迫っていたため、在宅医療コーディネーターをしている秩父市立病院 若林氏に今年は依頼した。この報告を受け、理事会で事後承認した。

③全国災害担当者会議（11月20日開催予定）について（資料参照）：平野理事

竹野事務局長、平野理事が参加。

④その他

・2024年度第2回都道府県協会研修担当会議開催予定。日時は2025年1月31日（金）、2月1日（土）。門岡研修部長には報告済み。

・法テラス埼玉地方協議会「もっとよく知る法テラス」 2025年2月3日（月）14：30～16：00開催予定。内容は業務説明、事例紹介。申し込み期限は12月20日（金）まで。

・社会福祉関係者新年賀詞交換会の案内。埼玉県社協主催。1月30日（木）18：00～19：30、場所ロイヤルパインズホテル浦和。会費は1人あたり13,000円。施設関係者や県の職員が参加している。

→今回は欠席とする。

2) 各部局からの報告

(1)総務部：橋村総務部長（資料参照）

①会員状況

12月16日時点で、東部67名、西部129名、南部117名、北部90名、合計403名。 第1号会員は398名、第2号会員は5名。

②各ブロック活動報告（資料参照）

③令和7年度役員改選について

告示日令和7年1月10日、立候補受付期間2月1日～2月28日。役員改選の案内は年明け以降で郵送予定。

松本理事：研修部の学会演題の案内を同時に郵送していきたい。

(2) 研修部：門岡研修部長

①新人研修会感想（資料参照）

11月30日対面形式で事例検討開催。1名体調不良で欠席のため、14名参加。会場は武蔵浦和コミュニティセンター、半日で500円。

平野理事：会場の予約については、県協会として団体登録している（さいたま市内のコミュニティセンター等）が、会員の半数以上がさいたま市に在住・在勤でないと市外団体になってしまう。市外団体は2ヶ月前からしか申し込みができない。一方、「ソーシャルワーク実践を考える会」の名前で登録しているグループは市内団体となっているので、3ヶ月前から予約可能となっている。いずれも協会でも利用でき、格安で会場が借りられるので、積極的に活用してほしい。

②学会について

6月の定時総会の際に、全体研修会と同時に学会を開催。学会の演題募集の通知は総務部の役員改選の案内とともに郵送したい。

講評は竹野事務局長に依頼しようと考えている。

③全体研修会について

オープンチャットにてテーマに関するアンケート実施。36名回答あり。関心の多いテーマとして、身寄りがいない方の支援が21票、外国人難民支援が16票で多かった。身寄りのない方の支援について、横須賀市こども部地域福祉課北見万幸（きたみかずゆき）さんに講師を依頼している。

横須賀市は、全国に先駆け、国が定める「高齢者等終身サポート事業」を発展させ、2015年から身寄りがなく生活にゆとりがない高齢者に対する終活支援をモデル事業として、行政主体で行っている。

④専門研修会について：松本理事

案内文書は郵送済み。現時点で22名申し込みあり、内2名は非会員。令和7年2月15日13：30～16：00開催予定。申し込み人数100名まで可能。

(3) 財務部

①財務状況報告：飯田理事

360件納入されていることが報告された。

未納者は72名（97口）、北部13名・東部13名・西部19名・南部27名。未納退会者39名（68口）。

②その他：高瀬財務部長、飯田理事

・ゆうちょ銀行の手数料変更に伴い、ゆうちょダイレクトに申し込み中。ネットで入金額や残高を確認することができる。

・定期預金が満期を迎えたため、預け替えしている。

・納入のお知らせは郵送。

・70周年記念事業の予算として30万円の計上は可能と考える。転居費用、70周年記念事業の予算については、今後の事業経費を考えると本年度の持ち越している予算から考えた方が良いと思う。

(4) 事務局

① 今後の協会運営あり方検討委員会報告：平野理事（資料参照）

委員会のメンバー（理事以外の方）から、「県協会やブロック活動に育てられたというという認識がある。」「本来であれば後輩の悩みに寄り添っていくことが大切、先輩である自分の役割。ただ、わんこねの導入などの流れは避けることができない。」等の意見があった。

医療福祉相談会を社会福祉士会と共同で行っていた時期があった。今までのやり方にこだわらず、どのようなものにしていくのか考えていく。

定款改正の懸案事項として残っている事柄もあるため、引き続き検討・調整していく。

県協会創立70周年（2026年）、公益社団法人移行10周年（2025年）の記念事業を何らかの形で行いたい。

新規事業として、身寄りのない方の支援等の事業展開については今後検討していきたい。

松本理事：記念事業は行っていきたい。

高瀬理事：30万円予算とは話したが、特に根拠がある数字ではない。今後事業費の縮小があれば、もう少し予算をあげられるかもしれない。300万円残っているため、定期預金も崩せるものもあるのでタイミングをみて活用するのも良いと思う。

→理事会にて、記念事業は行っていく方針とすることを確認。

②令和7年度定時総会日時と場所の報告：平野理事

2025年6月14日（土）9：00～17：00会場予約済み。会場は埼玉会館7階、100名収容可能。

③令和7年度事務局事業計画と予算案の策定について（資料参照）：山梨理事、平野理事

11月13日、事務局・ICT部門事業計画&コスト削減と削減のための計画案を策定。

1. 会員のメールアドレス集約による経費削減と業務効率化

通信運搬費が、郵便料の値上がりにより費用負担が増える見込みとなる。値上げ前も年間約18万円の経費がかかっていた。

2. Zoomアカウント見直しによるコスト削減

現在は8回線利用中。さらに調査した上で、回線を減らしコスト削減を検討していく。

3. 事務所移転によるコスト削減

会員数が最大数であった翌年に現在の事務所を契約している。更新時期は2026年2月である。更新の前に、現在より安い賃料の事務所への移転を検討していきたいと考えている。固定電話からスマホへの契約の変更により通信費を削減する。

清水ICT部門責任者：上記2に関してZoomアカウントは1回線21,600円なので、1回線で年に2回程度しか使用していないといった部局では、他部門と共同で使用するような検討も必要と考える。

上記1については、情報発信を郵便ではなくメールでできるように1年間かけて会員のメールアドレスを収集していく。収集方法としては、郵送の案内にメールアドレス登録フォームのQRコードを掲載し、メールアドレスを登録してもらう方法を考えている。

④埼玉県協会創設70周年、公益社団法人移行10周年記念事業について：平野理事

①で協議。

⑤ICT部門から：清水ICT部門責任者

LINEWORKS使用率は現在30%。100%超えると有料になってしまう。容量がいっぱいになったら、Googleチャットに移行する等の対策を考える。

デザインツールCanvaのNPO法人プランがあるため、申請を考えている。利用登録申請の際にクレジットカードの登録が必要となる可能性がある。

飯田理事：協会事務所にクレジットカードの番号が届いていると思われるため、状況を確認する。

→ 協会事務所の金庫で保管されていた(会議後確認)。

⑥令和7年度事業計画と予算案の提出について（依頼）：平野理事

事務局の事業計画案と来年度予算案を作成した。臨時総会を開催しなくなった分、会場費や郵送代を削減できる。定時総会の議案書はQRコードを読み込んでもらい、各自で印刷してもらうことで印刷代を削減することができる。また、議案書の郵送がない分大きい封筒ではなく小さい封筒ではがきを郵送することができる。

現在ホームページを管理している山崎メディアミックスを7月に解約し、ホームページ管理費を削減する。

財務部、事務局より1月中旬までに各部局の予算案、事業計画案を財務部及び事務局へそれぞれ提出してほしいと依頼した。

杉山会長：県社会福祉協議会、埼玉県精神保健福祉協会の会費の納入は今までお付き合いとして加入してきた経緯がある。

→次の理事会までに、事業計画案を各部局でGoogleWorkSpaceの令和7年度事業計画案のページに入力する。

大塚副会長：臨時総会を開催しないため、基本方針の内容についてどういった内容にするのか。各部局の事業計画を踏まえた内容にした方が良いのか。

千賀理事：基本方針はこのまま継続した方が良い。基本方針は各部局が事業計画を考える上で指針となる。内容については副会長の負担とならないよう、最終的に理事会で検討する。

⑦その他

- ・秩父生協病院の永原さんから育児休業の会費免除申請あり。

→理事会にて承認する。

(5)社会活動部：長岡理事

①社会活動部会報告

12月16日部会開催。103名アンケートの回答あり。12月16日から23日の週までにアンケート回答依頼の電話を行う。

9 次回理事会の開催について

- ・次回理事会は令和7年1月28日(火)14：00から開催する。

・各部局で緊急を要する事態が発生した場合は、必要に応じてメール審議または緊急オンライン 理事会を開催することとした。

以上を以て議案等の審議を終了し、16：42 議長より閉会を宣し、解散した。

上記は理事会議事録に相違ないことを証明する。

令和6年 月 日

議事録署名人（代表理事）

議事録署名人（監事）

議事録署名人（監事）